

建設局 平成24年度 局運営方針

1. 主な現状と課題

市民の安心・安全に配慮し、道路交通網の充実・暮らしの道路の整備・公共下水道整備・総合治水対策等の都市基盤整備と維持管理を適切に行い、市民生活を快適なものとすると共に、民間住宅の耐震化を図り市民生活の安全を確保する必要があります。

また、高度経済成長時代に整備された社会資本の老朽化が深刻な問題となっています。

(1) 建設部門における一連の業務の電子化を推進し、行政運営の高度化・効率化する必要があります。

(2) 境界申請の遅延による住民サービスの地域間格差を是正すると共に、被災時のライフラインや道路等をはじめとする復旧時の地域間格差を無くす必要があります、集中的に実施する事で財政負担を軽減する必要があります。

(3) 市民生活に身近な生活道路の整備は遅れており、消防・救急などの緊急活動の妨げとなる狭隘道路、路面排水の悪い道路や舗装の老朽化など様々な問題を抱えています。

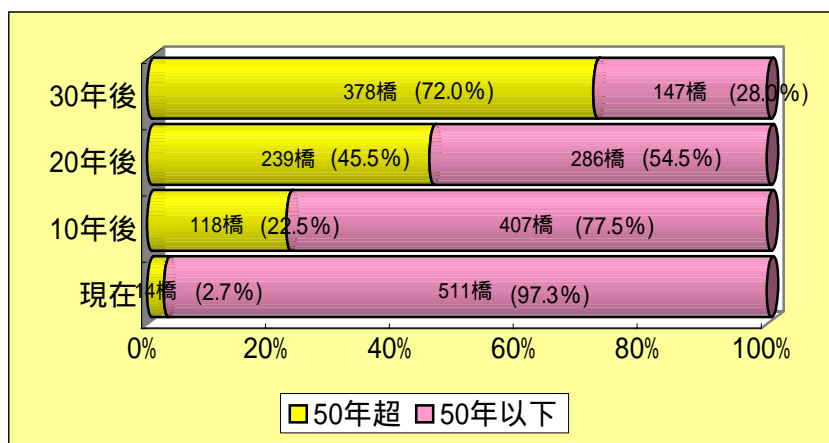
このため、生活道路の整備に対する市民要望は多く、今後も要望件数の増大が見込まれることから、早期整備を図る必要があります。

(4) 市が管理している橋梁は、1,013橋(H23.3末現在)あり、その多くは1960年代から80年代後半に建設されています。

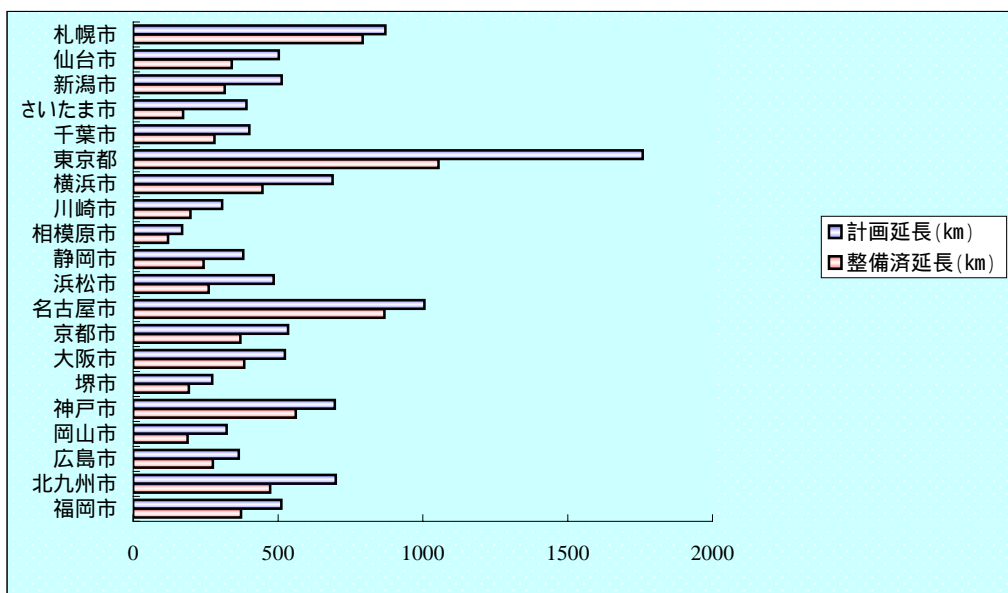
現在は、建設後50年以上経過している橋梁は全体の約3%ですが、30年後にはその割合が約70%になります。

大量の橋梁の老朽化は、一定時期に修繕や架替えに係る費用の増大を招くことから、財政的に大きな負担となることが想定されます。

さいたま市が管理する橋梁の橋齢推移



(5) 本市では、円滑な都市活動を支えるため、渋滞の解消など、交通需要に対応していくことが課題となっています。



(6) 台風等の大雨による浸水被害の軽減に向け、河川改修が急がれており、河川の改修には多くの期間を要するため、流域内に貯留施設等を設置し、総合的な治水対策を講じていく必要があります。

(7) 地震による住宅等の倒壊による犠牲者を減少させるためには、倒壊そのものを防ぐために耐震化を促進させることが、有効な手段であると考えられることから、平成23年10月1日に拡充を行なった耐震補強等助成事業について市民への情報提供や啓発活動を強化し、耐震化を加速させる必要があります。

また、地震災害時における緊急輸送道路の機能を確保するため、沿道建築物の耐震化を促進する必要があります。

犠牲者の死亡原因(地震後2週間まで)

死因	死亡者数(人)	割合
窒息	1,967	53.9%
圧死	452	12.4%
打撲・捻挫傷	300	8.2%
外傷性ショック	82	2.2%
頭部損傷	124	3.4%
内臓損傷	55	1.5%
頸部損傷	63	1.7%
焼死・全身火傷	444	12.2%
不詳及び不明	116	3.2%
臓器不全等	15	0.4%
衰弱・凍死	7	0.2%
その他	26	0.7%
合計	3,651	100.0%

83.3% (窒息, 圧死, 打撲・捻挫傷, 外傷性ショック, 頭部損傷, 内臓損傷, 頸部損傷, 焼死・全身火傷)

95.5% (窒息, 圧死, 打撲・捻挫傷, 外傷性ショック, 頭部損傷, 内臓損傷, 頸部損傷, 焼死・全身火傷, 不詳及び不明)

神戸市内で亡くなった3,875人のうち詳細な分析が行われた3,651人について記載

(出典)「間違いだらけの地震対策」(目黒公郎東京大学教授)

(8) 本市の市営住宅については、老朽化が顕著で現代の生活形態の変化に性能水準・居住水準等が対応できていない住宅が多数存在していることから、市営住宅等¹長寿命化計画に基づき、今後訪れる建替えの時期を分散するなど、事業の平準化を図っていく必要があります。

< 市営住宅等長寿命化計画に基づく建替え計画 >

年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	既存戸数	計画戸数
浮谷住宅			建設(112戸)						建設(60戸)			40	172
黒谷住宅				浮谷住宅へ集約								30	0
峰岸住宅					建設(128戸)							120	128
道祖土戸崎団地							建設(84戸)					72	84
馬宮住宅										建設(112戸)		216	112
												491 ²	496

1 市営住宅等とは市営住宅、改良住宅及び市民住宅のことをいいます。

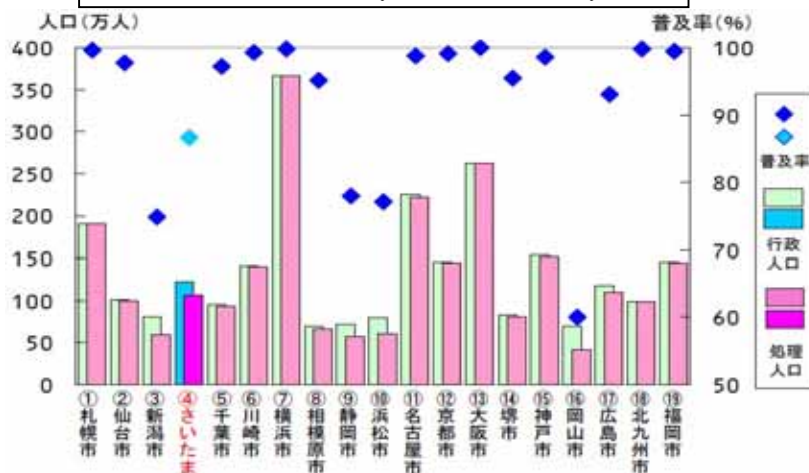
2 平成22年度用途廃止(笹久保)及び23年度用途廃止予定(柏崎)の住宅(計13戸)を含む。

(9) 本市の下水道は、昭和28年に大宮駅の市街地を対象として事業に着手し、着実に整備を進めてきました。しかし、現状において市域の中で未整備箇所があり、都市化の進展や集中豪雨に伴う雨水流出量の増加により浸水被害が発生していること、早期に整備着手した合流式下水道区域においては、雨天時に下水の一部が未処理のまま雨水吐きから河川に流れ出すこと、老朽化が進んだ施設が増加しているとともに近年頻発している大規模地震に対する対策を求められている施設があります。

そのため、下水道施設の適切な維持管理をし、下水道施設を市民がいつまでも安全に使用できるサービスを提供していく必要があります。増え続ける下水道施設を維持管理する経費は増大する傾向にあります。

政令市 下水道普及率(平成22年度末)

さいたま市87.9%(政令市平均95.5%)



2. 基本方針・施策体系別主要事業

市民の安心・安全に配慮した公共事業を適正に実施し、道路交通網の充実・暮らしの道路の整備・公共下水道整備・総合治水対策等の都市基盤整備と維持管理を行い、市民生活の安全を確保する事業を展開すると共に、市民生活の安心を確保する施策を展開し、市民生活をより快適なものとするよう努めます。

(1) 人と環境に配慮した安全な都市基盤を整備します。

* ()内は一般財源

(単位:千円)

No	区分	事業名	24年度	23年度	説明
1	総	建設部門情報化推進事業 〔技術管理課〕	28,513 (28,513)	22,872 (22,872)	CALS/EC業務支援システムに必要な機器をリース及び運用保守、情報端末へのCAD導入
2	拡防	区域線整備推進事業 〔土木総務課〕	330,000 (330,000)	155,400 (155,400)	道路水路の境界確認業務(総合地震対策事業)
3	総	暮らしの道路整備事業 及びスマイルロード整備事業 〔道路環境課〕	2,600,890 (1,833,190)	2,517,330 (2,105,130)	要望箇所について順次整備を実施
4	総	歩道等整備事業 〔道路環境課〕	1,662,717 (607,217)	1,503,766 (726,166)	歩道等の整備事業を進めるとともに、自転車通行環境に関する調査を実施
5	総	広域幹線道路・市内幹線道路の整備 〔道路計画課〕	12,843,434 (2,409,521)	13,228,297 (2,495,130)	平時における渋滞解消及び環境負荷の低減と共に、緊急時における避難路、緊急輸送及び復旧活動を支える道路ネットワークを整備
6	総	下水道汚水事業 〔下水道計画課〕	6,711,496	8,646,039	下水道未整備地区の中でも事業効率の高い区域について下水道を整備
7	総	下水道合流改善事業 〔下水道計画課〕	1,082,292	1,495,720	早期に下水道に着手した合流式下水道区域において引き続き貯留施設などを建設

(2) 戦略的な維持管理の取組みにより市民生活の安全を確保します。

* ()内は一般財源

(単位:千円)

No	区分	事業名	24年度	23年度	説明
8	総 行 防	橋りょう長寿命化修繕 事業 〔道路環境課〕	511,700 (230,600)	471,000 (240,900)	橋梁の予防保全により、維持管理費の縮減と補修費用を平準化

[区分] 新...新規事業 拡...拡大事業 総...総合振興計画(新実施計画)事業 し...しあわせ倍増プラン2009事業
行...行財政改革推進プラン2010事業 防...防災・環境・エネルギー対策 高...高齢者支援 子...子育て支援

*()内は一般財源

(単位:千円)

No	区分	事業名	24年度	23年度	説明
9	総防	下水道施設老朽化対策事業 〔下水道計画課〕	1,721,400	1,395,300	老朽化施設の改築更新を進めるとともに、東日本大震災の被災地における甚大な被害を踏まえて、重要な幹線やポンプ場、処理場などの耐震対策を強化
10	防	管きょ維持管理事業 〔下水道維持管理課〕	352,070	354,493	管路を清掃することにより、下水道の機能を維持
11	防	ポンプ場維持管理事業 〔下水道維持管理課〕	434,491	419,918	中継ポンプ場等の施設管理委託や機械・電気設備の日々のメンテナンスなどを実施
12	防	管路更新改良事業 〔下水道維持管理課〕	80,000	79,900	市内の主要な幹線等の管路内調査や、敷設後40年以上経過した施設の管路内調査
13	防	マンホール蓋更新事業 〔下水道維持管理課〕	65,000	55,000	集中豪雨によるマンホール蓋の浮上・飛散に伴う安全対策のため、浮上防止機能付のさいたま市型マンホール蓋に交換

(3) 災害から市民の生命や財産を守る事業を展開します。

*()内は一般財源

(単位:千円)

No	区分	事業名	24年度	23年度	説明
14	総し防	高沼用水路整備事業 〔河川課〕	93,000 (14,700)	104,600 (41,600)	浸水被害の軽減、治水安全度の向上を図るとともに、歴史性、文化性、環境を活かした水と緑のネットワーク軸として、市民が水と親しみ憩える水路を整備
15	総し防	東宮下調節池整備事業 〔河川課〕	357,000 (36,200)	475,500 (60,200)	浸水被害の軽減、治水安全度の向上を図るとともに、市民が潤いと安らぎを感じられる安全に配慮した調整池を整備
16	総防	河川改修事業 〔河川課〕	831,014 (143,314)	946,734 (232,034)	浸水被害の軽減、治水安全度の向上を図るため、市の管理する準用河川、普通河川を整備
17	総防	流域貯留浸透事業 〔河川課〕	137,000 (11,400)	74,000 (6,300)	降雨が短時間に集中し浸水被害を起しているため、公共施設(小中学校・公園等)に降った雨を一時貯留、浸透させる施設を設置

〔区分〕 新...新規事業 拡...拡大事業 総...総合振興計画(新実施計画)事業 し...しあわせ倍増プラン2009事業
行...行財政改革推進プラン2010事業 防...防災・環境・エネルギー対策 高...高齢者支援 子...子育て支援

*()内は一般財源

(単位:千円)

No	区分	事業名	24年度	23年度	説明
18	総防	下水道浸水対策事業 〔下水道計画課〕	4,529,832	6,979,880	貯留施設などの建設やまちづくりと一体となった雨水整備をすすめるとともに、さいたま市浸水(内水) ^{ないずい} 防災マップを活かし浸水被害を軽減

(4) 安心できる市民生活を提供するための事業を展開します。

*()内は一般財源

(単位:千円)

No	区分	事業名	24年度	23年度	説明
19	総し防	さいたま市既存建築物 耐震補強等助成事業 〔建築総務課〕	398,300 (241,745)	290,687 (149,422)	地震防災対策強化のため、民間建築物の耐震化に対する助成を引き続き実施
20	拡総防	市営住宅建替事業 〔住宅課〕	74,189 (0)	15,000 (0)	老朽化市営住宅の計画的な建替
21	防	事業場水質分析 〔下水道維持管理課〕	10,283	11,785	規制対象事業場を個別に排水検査し、基準超過に対し、改善指導
22	防	流域関連公共下水道水 質調査 〔下水道維持管理課〕	23,756	23,783	各処理分区の接続点排水を検査し、水質異常を調査

〔区分〕 新...新規事業 拡...拡大事業 総...総合振興計画(新実施計画)事業 し...しあわせ倍増プラン2009事業
行...行財政改革推進プラン2010事業 防...防災、環境・エネルギー対策 高...高齢者支援 子...子育て支援

3. 行財政改革への取組

- (1) 事業の緊急性、重要性を精査すると共に、積算の精度をあげ事業費を圧縮
工事の緊急性、重要性により整備箇所を精査します。
設計金額等を精査すると共に、以前に増して事業見込みを反映した積算を行います。
可能な限り経費区分ごとに積算を見直します。
- (2) 市税以外の自主財源確保
社会資本の整備に向け、国庫補助（社会資本整備総合交付金）の確保に努めます。
手数料等について、自主財源確保に努めます。
- (3) 既存事業の見直しによるコスト削減の取組

既存事業の見直しによるコスト削減額	4,115 千円
-------------------	----------

需用費について内容を精査し事業費を減額します。
事業内容の見直しにより委託料・使用料賃借料の事業費を減額します。